

2021年度 JICA中国青年研修事業 実施予定案件に係る概要等

全案件共通目標：将来のリーダーとして当該分野の課題解決を担う青年層の知識と意識の向上

	国・地域 実施言語 案件名 混成内訳	案件目標	案件概要	科目例	研修対象者 (当該分野に従事 する20歳～35歳の 青年層)	受入れ対象国の支援ニーズ等 1. 当該案件分野に関する現状の問題および課題等 2. ターゲットとする対象者等 3. 想定される成果等 4. 関連するスキーム(協力プログラム、ボランティア等)
1	ネパール 防災コース (ネパール 語) 8名	日本/地域 の防災に関 する基礎的 な技術や制 度に関する 知識の習得 及び自国の 課題解決に 向けた意識 の向上	・日本/地域における 防災の歴史、防災教育 体制の現状を中心とし た基本的な知識を学ぶ ・現場視察映像の視 聴、関係者との意見交 換等を通じ当該分野に 係る日本/地域の経験 又は社会の背景等を学 ぶ	防災政策と行政 体制、学校や地 域における防災 教育、防災関係 機関(防災セン ター等)の運営 体制、指導法等	・防災政策・防災 教育に携わる中央 政府/地方政府の行 政官又は関係する NGO・NPO職員 ・関連するJICA事 業のカウンター パート	1. 現状の課題：ネパールでは気候変動の影響による土砂崩れや洪水、地震等、災害への脆弱性が高い。2017年10月に防災管理法が制定され、今後は2015年地震からの震災復興と並行して将来の大規模地震に備えるため「仙台防災枠組」に則り、国家防災管理庁が中心となって災害リスクの理解、災害リスクガバナンス、防災への事前投資を推し進め、環境・気候変動対策強化も見据えた強靱な国家を構築することが喫緊の課題 2. 対象者：防災政策・教育に携わる行政官 3. 成果：日本の防災に関する技術や知識の習得により自国における災害脆弱性に対処する意識の向上 4. 関連スキーム：防災・環境・気候変動対策プログラムにおいて技術協力プロジェクト、草の根技術協力、研究等協力を展開
2	モルディブ 職業訓練コー ス (英語) 5名	日本/地域 の職業訓練 に関する基 礎的な知 識・技術の 習得及び自 国の課題解 決に向けた 意識の向上	・日本/地域における 職業訓練の概要、現状 を中心とした基本的な 知識を学ぶ ・現場視察映像の視 聴、関係者との意見交 換等を通じ当該分野 に係る日本/地域の経 験又は社会の背景等を 学ぶ	職業訓練の概 要、人材育成の 体制(カリキュ ラム、教材、進 路相談等)	・職業訓練に従事 する行政官又は職 業訓練機関の職員 ・関連するJICA事 業のカウンター パート	モルディブでは、外的要因の影響を受けやすい観光業以外の産業育成が急務となっており、地域振興による強靱な経済・社会構造の構築に向けた取り組みが重要視されている。 島しょ国における地域産業振興とその担い手育成に関する技術や知識を習得することにより、同国現政権が推進する若年層の雇用機会の拡大を支援するものであり、ポストコロナの青少年育成対策にも資するものとして期待される。

【用語等補足】

※本表中で記載される「ボランティア」とは、JICAが派遣する青年海外協力隊(JOCV)、シニア海外ボランティア(SV)をさします。

※カウンターパートとは、JICAが派遣する日本人専門家やボランティアと一緒に活動を行う現地のパートナーのことです。